

花あっちこっち

ジュウニヒトエ（十二単）



花言葉：あなたを待っています

ジュウニヒトエ（十二単）は日本固有種で、本州や四国に分布している。4～5月頃になると地際で茎を分け、茎をほぼ直立させ草丈10～20cmほどの円錐塔状の紫色花穂を立てる。近年外来種のセイヨウジュウニヒトエに繁殖負けして、地域絶滅危惧種に指定されている。

名前の由来は、花穂に花が重なり合う様子を、平安時代の女官の衣装「十二単」にたとえたものであると云われる。名前が優美であるにもかかわらず、詩歌や文芸書等に現れていないのが不思議である。

耳寄り情報

国際交流 Seva

代表 船矢 多紀子 TEL/Fax 045-301-1503

毎週水曜日の午前中にせやまる・ふれあい館で、外国人にボランティアで日本語を教えています。授業料は1回100円。スタッフは25名、学習者は30名程です。

全く日本語がわからない人から日本語検定1級（大学受験レベル）を目指す人までさまざまですが、それぞれのレベルに合ったテキストを用意し、熟練したスタッフがほぼマンツーマンで教えています。

活動を始めて25年になりますが、受講を終え、小・中学校で国際理解教師として、あるいは通訳、弁護士、会社員として活躍中…といううれしい便りも届きます。日本語がわからず困っている外国人を見かけたら是非ご紹介下さい。



まちかど

あの町この町

⑱ 南台（みなみだい）・南瀬谷（みなみせや）

区の南西部に位置し、南台も南瀬谷も一丁目から二丁目と四つの町に別れている。南瀬谷は昭和54年8月に瀬谷町の一部から、南台は昭和56年4月に、瀬谷町と宮沢町の各一部から新設された。町名はそれぞれ地元の要望によるもので、南瀬谷は瀬谷の南部に位置することから、「南瀬谷」と名付けられ、南台は通称として使われていた「南台」を採った。

北側を厚木街道が通り、一丁目の北西側を中原街道が通る。二丁目に瀬谷スポーツセンターや南台こどものもり公園がある。また初春の相沢川ウォークには、河津桜（瀬谷の一番桜）が鑑賞できる。



編集メンバー：井嶋 清吉、石井 俊和、稲垣 庸子、梅田 一好、鈴木 正志、田村 宏、竹見 修二、玉垣チヅ子、辻 善之、寺谷 宗也、東 七男、深谷 正行、松永 清男、室伏 敬二